

「国境なき医師団」による「命」の授業

11月13日（水）5，6年生を対象に「国境なき医師団」から群馬県にお住まいの外科医師の先生をお招きし、「命」について考える授業を行いました。「国境なき医師団」は世界約90の国や地域で活動しているとの話が冒頭にありました。講師の先生からは映像を交え、南スーダンでの活動の様子を中心にお話をいただきました。南スーダンでは、三人に一人が自分の家がないこと、民族間での争いで多くの人が犠牲になっていること、たくさん子どもたちが戦争や飢えに苦しんでいることなどを聞き、児童は驚いている様子でした。今の生活を当たり前と思わず、命の大切さ、自分や周りの人を大切にすること、そして自分たちができることは何かなど、改めて考え、実行してほしいと思います。

